

腹腔鏡下で腎臓（副腎）摘出術を受ける方の入院診療計画書

主治医： _____

入院日： 月 日

様



受持看護師： _____

病棟： 棟 階 病棟責任者 _____






1/2

病状説明：腎臓（副腎）に腫瘍を認めます。手術にて腎臓（副腎）を摘出します。
入院期間は約2週間です。

退院基準：術後合併症（感染・縫合不全・腸閉塞など）がない。
発熱がない。創部痛が内服薬でコントロールできる。
創部に異常（著大な腫脹・出血・感染・離開）がない。
退院後の生活について理解できる。

	外来及び手術前	入院・手術前日（ / / ）	[前] 手術当日（ / / ）	[後]	術後1日目（ / / ）
検査 治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> ●血液検査 ●胸部・腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●肺機能検査 ●動脈からの採血（血液中の酸素濃度を調べます。） 上記の検査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リストバンドを付けます。（リストバンドに“みぎ・ひだり”と明記します。） ●身長・体重を測定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝7時頃、洗髪をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術後は手術直後・30分後・1時間後・2時間後・6時間後と必要時に体温・脈拍・血圧を測定します。 ●酸素・心電図モニター・血液中の酸素濃度を測る機器を指につけます。 ●血液循環を良くするため、足にフットポンプを着けます。 ●採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 ●酸素・心電図モニターをはずします。 ●ガーゼ交換をします。 ●血液検査とレントゲン撮影があります。 ●フットポンプを外します。 
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ●普段内服している薬がありましたら、お知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気・血液の病気などで血液が固まりにくくなる薬などは必ず申し出て下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夕食後にコップ1杯の下剤をお飲みください。 		<ul style="list-style-type: none"> ●手術後は24時間持続的に点滴をします。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝と夜に抗生剤の点滴があります。 
安静度	●普段通りの生活ができます。	●病院内自由に歩行できます。	●主治医と看護師と歩いて、手術室へ行きます。	●ベッド上安静です。 ※寝返りはできません。	●歩行できます。
リハビリ デーション	●仰向きで深呼吸の練習をして下さい。			●目が覚めたら深呼吸をして下さい。	●看護師（及び理学療法士）によるリハビリテーションを開始します。 ※ベッドを起こして坐る →背もたれなしで坐る →ベッド柵を持って立つ →ベッドの周囲を歩く →部屋の中を歩く →病棟内を歩く
排泄	●制限はありません。			●手術中に尿の管が入ります。	
清潔	●入浴できます。	<ul style="list-style-type: none"> ●手術する部位の毛を剃り、お臍の掃除をします。その後、シャワー・シャンプー爪切りを済ませて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●起床後必ず、洗面・歯みがきをして下さい。男性は鬚を剃って下さい。 ●油分の多いクリームをつけたりしないでください。 ●時計、アクセサリー、入歯など外せるものすべては外して下さい。 		●リカバリー室で体を拭き、パジャマに着替えます。（看護師が行います。）
食事 栄養管理		<ul style="list-style-type: none"> ●食事は夕食まで食べられます。 ●水分は十分にとって下さい。 ●特別な栄養管理（有 無） 	<ul style="list-style-type: none"> ●水分は（お水・お茶）、（ 時）までは飲めます。それ以降は飲まないで下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ●回診後に水分の許可ができます。 ●昼より全粥がはじまります。（食事の開始は遅れることがあります。） 
説明 指導 教育	●手術前後の経過について説明します。（主治医）	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。（看護師） ●麻酔科医による診察があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●理学療法士から、リハビリテーションの説明があります。 ●眠れない時には、看護師にお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術室に入室する30分前に、うがいと排便を行って下さい。 ●手術着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大切な管がたくさん入っています。抜かないように気をつけましょう。 ●手術後はリカバリー室に、入室していただきます。 ●痰は飲み込まずに出して下さい。 ●転倒・転落等の不測の事態を避けるためベッド柵が取り付けられています。 	●主治医の診察の後、リカバリー室から個室へ移動します。
<p><手術に必要な物品></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 前開きのパジャマ1組 <input type="checkbox"/> 下着1枚 <input type="checkbox"/> タオル1枚 <input type="checkbox"/> ティッシュ1箱 <input type="checkbox"/> コップor水のみ <input type="checkbox"/> 歯磨きセット <p>※ 1つずつに名前を書いて下さい。 ※ 手術前日に看護師が確認します。 ※ 手術当日にお預かりします。</p>		<p>※手術室に入室する時刻 （ 時 分の予定）</p> <p>※手術中、ご家族はA棟5階の食堂でお待ち下さい。席をはずされる場合は詰所窓口まで声をかけて下さい。（個室の方は個室でお待ち下さい。）</p>		<p>※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。</p> <p>※ご家族の方の面会はリカバリー室にて行います。少人数 短時間でお願いします。</p>	

腹腔鏡下で腎臓（副腎）摘出術を受ける方の入院診療計画書

	術後2日目 (/)	術後3日目 (/)	術後4日 (/)	術後5日 (/)	術後6日 (/)	術後7日 (/)	~ (/) 退院日
検査 治療 処置	●体温・脈拍・血圧を 1日3回測ります。 ●傷の観察をします。	●体温・脈拍・血圧を 1日1回測ります。 ●採血があります。 		●ドレーンを抜きます。 (前後することが あります。)		●創部の状態により、 半抜糸(鉤)または 全抜糸(鉤)をします。 ●採血があります。 	→
薬剤	●24時間持続的に 点滴をします。 ●朝と夜に抗生剤の 点滴があります。	●抗生剤の飲み薬が 始まります。(5日間)					→
安静度	●歩行できます。		●制限はありません。 積極的に歩きましょう。				→
リハビリ テーション	●看護師（及び理学療法士）による リハビリテーションを行います。						
排泄	●尿に管が入っています。	●尿の管を抜きます。○ ○	尿道の管を抜いた後、 排尿日誌をつけてもらいます。				
清潔	●身体を拭きパジャマを 着替えます。	●髪を洗います。	●足を洗います。	●傷の状態により シャワーに入ることが できます。 			→
食事 栄養管理	●朝より普通食です。	●制限はありません。					→
説明 指導 教育							●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての 説明があります。(医師・看護師) ●退院処方をお渡しします。 ●手術後の経過と手術時に提出した検査の 結果をお話します。(医師) ※後日外来での説明になることもあります。 ●必要時、薬剤師よりお薬の説明があります。 

上記内容について説明を受けました。 お名前 _____ (署名) 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 / 説明した看護師 :